

科の説明

取り扱う臓器は、副腎および腎臓・尿管・膀胱・前立腺、精巣と幅広く、基本的に診断から治療まで連続して行います。常勤医は4名（日本泌尿器科学会専門医、指導医+後期研修医）です。外来患者数は一日平均50名、入院患者数は一日平均15名、年間の手術件数は約350例です。とくに腹腔鏡手術数は県内トップであり、腹腔鏡下前立腺全摘術の施設認定を取得しているのは県下では当院のみです。また国内の学会はもとより、国際学会での発表、英文誌への論文掲載も行っており、臨床のみならず、臨床研究にも力を入れております。

一般目標

泌尿器科疾患の診断・治療を行うために必要な基本的知識、手技修得を目標とする。

行動目標

- 1) 泌尿器科診療に必要な基礎知識を修得し臨床応用できる。
- 2) 泌尿器科診療における各種症状・徴候を判断し鑑別診断に役立てることができる。
- 3) 泌尿器科診療に必要な診察法、検査に習熟し、その臨床応用ができる。
- 4) 各種泌尿器科疾患を理解し、その鑑別診断ができる。
- 5) 主治医として泌尿器科領域の基本的臨床能力を持ち、入院患者に対して全身および局所管理が適切におこなえる。
- 6) 泌尿器科領域の基本的治療に関する意義、原理を理解し、適応を決め、手術手技を修得し、治療前後の管理ができる。

経験目標

次ページにあげる実践研修を積み重ね、それぞれの手技を身につける。

指導体制

研修医は副主治医となり、指導医・研修協力医の指導のもとで研修する。

週間スケジュール

	午前	午後
月曜日	外来および病棟診療	検査外来 体外衝撃波結石碎石術
火曜日	病棟診療、手術	手術
水曜日	外来および病棟診療	検査外来 体外衝撃波結石碎石術
木曜日	病棟診療、手術	手術
金曜日	外来および病棟診療	検査外来 体外衝撃波結石碎石術

検査外来：膀胱ファイバー、尿路造影検査・処置、前立腺生検など

定例研修会等

会名	世話人	開催曜日	会場
南勢集談会	持ち回り	年間2回	伊勢・松阪
三重泌尿器科医会	杉村芳樹教授	年間2回	三重大学病院
東海地方会	持ち回り	年間4回	名古屋
日本泌尿器科学会中部総会	持ち回り	年間1回	名古屋
日本泌尿器科学会総会	持ち回り	年間1回	名古屋

具体的な研修方法・留意事項

- 1) 泌尿器科の研修は外来、病棟、X線検査室および手術場で行う。
- 2) 外来では、初診患者より問診をとり外来診療を見学するとともに、泌尿器検査や処置について実践しながら習得を目指す。
- 3) 病棟では、各種疾患の検査予定および実施、処置、患者管理を指導医・研修協力医のもとで実施する。
- 4) X線検査室では、尿路造影の手技およびその結果の評価について学ぶ。
- 5) 手術場では、麻酔および手術の助手を務め、簡単な処置を指導医・研修協力医のもとで実習する。
- 6) 泌尿器科での1日の流れは下記の通りである。
 - (1) 月・水・金曜日の8時30分より、初診患者の問診をとり、当該患者の検査、診断、処置、治療法を学ぶ。
 - (2) 月・水・金曜日の午後は体外衝撃波結石碎石術の助手を務めると共に、検査外来では、前立腺生検・X線検査等および膀胱鏡ファイバーなどを行う。
 - (3) 症例検討会では手術予定患者の検討を行い、X線読影・診断・治療法について学ぶ。
 - (4) 火・木曜日の手術日は、手術場で麻酔および手術の助手を務める。
 - (5) 上記の時間以外は病棟で入院患者の検査、処置、管理を学ぶ。
- 7) その他
 - (1) レントゲン検査・RI検査の読影については、症例検討会でレクチャーを行う。
 - (2) 腎・膀胱の超音波検査、直腸診、膀胱鏡検査、前立腺生検、経尿道的カテーテル留置、膀胱洗浄、尿管カテーテル法については外来および病棟研修で経験する。また指導医・研修協力医と共に実施する。
 - (3) 局所麻酔及び腰椎麻酔は、手術室研修で経験する。また、指導医・研修協力医と共に実施する。
 - (4) 手術については指導医・研修協力医に指導を受けながら、基本手技を学び、助手を務める。
 - (5) 体外衝撃波結石破砕術は、専用治療室で指導医・研修協力医と共に実施する。